

# 第3期登別市地域福祉実践計画「きずな」概要版 (平成28年度～平成32年度)



発行／社会福祉法人 登別市社会福祉協議会・きずな推進委員会

〒059-0016 登別市片倉町 6-9-1 登別市総合福祉センターしんた 21 内

電話／0143-88-0860

FAX／0143-88-4546

E-mail／[info@kizuna-shakyo.main.jp](mailto:info@kizuna-shakyo.main.jp) H P／<http://kizuna-shakyo.main.jp/>



きずな計画概要版の発行は、赤い羽根共同募金の支援を受けています。



# 第3期登別市地域福祉実践計画 「きずな」



住民主体の福祉のまちづくりをめざして、地域福祉の推進役として位置づけられている社会福祉協議会（社協が）中心となり、地域にある行政だけでは解決しにくい生活課題を、地域住民の代表者106名、専門職20名で構成する「きずな推進委員会」や、専門職が参画し、課題別に設置した4つのプロジェクトチームにおいて協議や検討を行い、それぞれにできることをまとめた5か年の行動計画です。

登別市ではこの計画の愛称を「きずな」としています。

第3期きずな計画は、町内会や民生委員・児童委員、当事者団体、福祉事業所、ボランティア、行政、社協等が役割を分担しながら、平成28年度から平成32年度までの5年間をかけて実践していきます。

## きずな推進委員名簿

【順不同・敬称略】(◎＝リーダー、○＝サブリーダー)

◆委員長／山田正幸◆副委員長／千葉一男、雨洗康江

### 《登別小学校区》

◎中川信市、○桶屋純一、○伊藤芳雄、日野安信、畠山基子、吉岡政美、成田光男、田代健二、勝間広靖、須賀武郎、飯島 武、田畑恒義

### 《幌別東小学校区》

◎鳴海文昭、○對馬敬子、○杉尾直樹、松原憲康、竹中洋子、渡辺麗子、森 芳昭、田淵利男

### 《幌別小学校区》

◎畑山功一、○畠山重信、○山崎敏男、○竹中脩蔵、伊清淳彦、廣瀬 至、前野充紀子、脇 俊昭、石井俊寿、及川富夫、武藤紀康、今 平人

### 《幌別西小学校区》

◎鈴木尚美、○石山典子、○島田幸一、太田 通、伊藤信一、宮地真治、本巢松美、工藤章造、三浦忠夫、岡田敏治

### 《青葉小学校区》

◎田淵純勝、○桑井孝子、○近藤トシ子、北原 勲、亀山 聖、福永晃一、吉田伸吾、堀尾政江、藤野俊兼、佐々木久美子、川村恵子、遠藤正一

### 《富岸小学校区》

◎瀧川正義、○袖山 功、○工藤保秋、筑野栄子、八重樫一男、水口 清、山道春秋、二木哲成、有野國男、小林良郷、中山晃一、菊地由三、田中恵美子、合田和彦

### 《若草小学校区》

◎南 行雄、○伊藤秀男、○植田正子、高橋正子、高橋良子、西村美代子、沼倉正明、松川陽子、堀川千恵子、北井勝義、森田只志、岸 正治、井本賢一、津田 勝、橋本めぐみ、川嶋京子

### 《鷺別小学校区》

◎池田泰彦、○中原義勝、○竹内信子、川島芳治、萩原純子、村井美保子、大和田登、稲葉雅幸、須賀川信之、末永弘二、手塚輝幸、岡本政志、小林靖親、原田敬三、柏木修吉、荒木政博、小田則子、鈴木信義、足立裕子

### 《専門委員会》

◎田中秀治、○安達陽子、○西島智恵、二階堂一男、斎藤正史、黒田庄一、田中恭介、佐藤卓也、宮崎直人、木村義恭、辻 勲、石井友子、星川光子、高嶋活哉、鎌田沙緒里、牧田 大、高橋芳恵、吉野良子、榎本吉幸、高橋良夫

## きずな推進委員会アドバイザー・オブザーバー名簿

【順不同・敬称略】

### 《アドバイザー》

鳥居一頼（きずな大使）、大内高雄（北海道地域福祉学会監事）、伊藤春樹（愛知淑徳大学福祉貢献学部教授）

### 《オブザーバー》

岡田正彦（市社会福祉グループ総括主幹）、吉田富士夫（市子育てグループ総括主幹）、平田雅樹（市障害福祉グループ総括主幹）、土門和宏（市高齢・介護グループ総括主幹）、東ひろみ（市市民サービスグループ総括主幹）、梅田秀人（市市民協働グループ総括主幹）、渡部光夫（市総務グループ防災主幹）、橋場 太（市教育委員会総務グループ総括主幹事務取扱）

## プロジェクトチーム（PT）メンバー名簿

【順不同・敬称略】(◎＝リーダー)

### 《地域包括ケアPT》

◎田中秀治、西島智恵、南のぞみ、高嶋活哉、土門和宏

### 《障がい福祉PT》

◎安達陽子、北見 淳、谷口 舞、西崎のり子、山田大樹、橋本真弓、平田雅樹

### 《きずなアンケートPT》

◎瀧川正義、鳴海文昭、佐藤敬文

### 《計画評価・指針作成PT》

◎田淵純勝、中原義勝、前野充紀子、鈴木尚美

# きずなの意義と基本目標

## きずなの意義と特徴

- (1) きずなは、市民と共に地域福祉を推進する具体的な行動計画です。
- (2) きずなは、人権を根幹に据え、市民個々の人間観、生活観を共生・共存を目的とする福祉の視点で見直し、市民個々のライフスタイルの尊重と地域コミュニティを創造する計画です。
- (3) きずなは、生活圏域としての小学校区を基盤とした地域福祉計画であるとともに、全市民を対象とした地域福祉を推進する計画です。
- (4) きずなは、市民の主体的な参画により地域の福祉課題に対して積極的に問題解決に向かう行動エネルギーを引き出す計画です。
- (5) きずなは、地域で生きる一人ひとりを孤立させることなく、誰もが人間らしく健康で生き生きと安心して暮らすために、一人ひとりがしっかりと結び合い・支え合い・助け合って生きるための仕組みづくりであり、自治的に協働して問題解決していくための計画です。
- (6) きずなは、ノーマライゼーションやバリアフリー、ユニバーサルデザインなどの理念を、実現に向けて推進する計画です。
- (7) きずなは、地域における行政と市民、そして社会福祉協議会との関係性を豊かにし、協働のまちづくりの新たなパートナーシップを確かに紡ぐ計画です。
- (8) きずなは、市民のいのちと暮らしを護るため、地域包括ケアシステムの確立をめざし、福祉を中心に保健・医療・介護等が連携を図り、福祉でまちづくりを推進する計画です。
- (9) きずなは、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、町内会、社会福祉法人、福祉事業所、NPO法人、ボランティア、企業等の関係機関が、互いに地域福祉の振興のためにネットワークを構築して協働で問題解決にあたる計画です。
- (10) きずなは、市民の手によりつくられた熱いおもいと、ぬくもりのある人間味にあふれた市民主体の計画であり、福祉でまちづくりをするために個々の市民力を発揮することを自らに課した計画です。
- (11) きずなは、平成28年度（2016年度）から平成32年度（2020年度）までの5か年計画であり、第1期・第2期きずな計画の実践・評価を積み上げながら、小学校区を中心に市民参画協働をさらに力強く進める計画です。

## きずなの5つの基本目標



## 基本目標

# ひとりの小さな幸せを希望に紡ぐ

# きずなでまちづくり

# 第3期全市きずな計画



### 1. きずなを育て確かめる ～福祉の意識と関心を高める取り組み～

#### ①きずな活動の推進

#### ②きずな（地域）の拠点づくり

各小学校区の課題に応じたモデル事業を展開し、拠点づくりをはじめ、共に支え合う仕組みづくりを推進します。

#### ③きずな共育（福祉教育）の推進

きずな計画の推進状況の周知や各種イベント等の開催、学校等における福祉教育の実施などにより、市民の福祉意識の向上や啓発を行います。

#### ④地域活動を支える人材・ボランティアの育成

### 2. きずなを護り強める ～支え合う地域をつくる取り組み～

#### ⑤小地域ネットワーク活動の推進

誰もが地域で安心して暮らせるよう、ご近所同士のつながりを大切にした地域の支え合い活動の推進・強化を図るとともに、災害時や緊急時に対応する専門機関等との連携体制の整備を行います。

#### ⑥社会参加の促進

障がいのあるなしに関わらず、子どもから高齢者までご近所同士が主体的につながることができ、誰もが参加出来るサロン活動の推進を行います。

#### ⑦孤立させない地域づくり

#### ⑧防災活動の推進



## 基本理念

心豊かに「きずな」を紡ぎ護理育てることで、  
一人ひとりを大切にする共生共存のまちをつくります



### 3. きずなを紡ぎ支える ～困りごとを解決する取り組み～

第3期きずな計画の最重点ポイントです！

#### ⑨福祉相談体制の強化

#### ⑩地域包括ケアシステムの構築（地域の支え合いづくり創出事業）

第3期きずな計画では、モデル事業として、「シニアボランティアポイント制度（仮称）の検討及び実施」「鍵の預かりサービス」「有償での移動・買物支援サービス」などに取り組み、地域住民同士が支え合うことのできる仕組みの構築を図ります。

介護保険法改正に伴う影響に対応できるよう、医療・介護・福祉のネットワーク体制の整備や地域ニーズに基づくサービスの提供体制を構築します。

#### ⑪暮らしを支える福祉事業の実施

### 4. きずなを結び深め広げる ～地域の協力体制をつくる取り組み～

#### ⑫ボランティアセンター機能の充実

#### ⑬身近な暮らしの情報ネットワークの促進

#### ⑭関係機関とのネットワーク

町内会や民生委員児童委員協議会、福祉事業所等との連携を強化し、きずな活動の一層の推進を行います。

### 5. きずなを高め保障する ～きずなの推進体制を確立する取り組み～

#### ⑮社協の基盤強化

#### ⑯財政基盤整備

#### ⑰地域福祉を推進するための職員の配置と資質向上

#### ⑱地域福祉実践計画の進捗管理と地域福祉計画との連携

## 全校区共通

1. 各小学校区におけるきずな活動の推進
2. 日頃からの声かけ見守り・訪問・声かけの推進

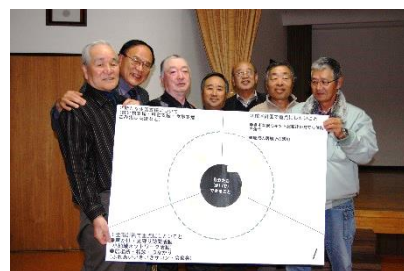
### 【登別小学校区】

1. 生活環境の整備  
空家の活用や除雪・ゴミ出し等のちょっとした支援を行い、地域住民同士の支え合い体制づくりを図ります。
2. 人材育成  
登別中学校1年生と地域住民を対象に「お茶の間会議」を開催し、交流・意見交換の場を設け、次世代の育成を図ります。



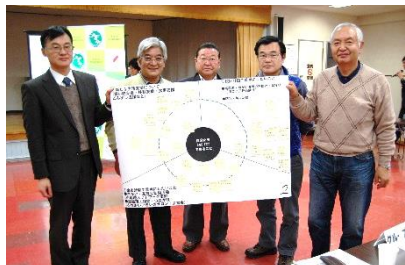
### 【幌別東小学校区】

1. 居場所・相談・つながりづくりの推進  
サロン活動の推進や、ゆめみ〜る等との連携を図り、孤立等の防止を目指します。
2. 地域交流の促進  
イベントなどの地域行事への参加促進を図り、生きがいと世代間交流の促進を目指します。



### 【幌別小学校区】

1. 高齢者・障がい者等の声かけ見守り（向こう三軒両隣）  
挨拶や地域間の連携を大事にするとともに、情報交換の場の定期開催を推進します。
2. 防犯・防災活動  
登下校パトロールや日頃の見守り活動を通して、住みよい地域づくりを目指します。



### 【幌別西小学校区】

1. 世代間交流  
ふれあい・子育てサロンの推進や情報共有を密にすることで、世代間交流の推進を図ります。
2. 防災活動  
平常時からの見守り活動等の取り組みを大切にしながら、避難訓練の実施や連絡体制の整備を行います。





### 3. 居場所・相談・つながりづくりの推進



#### 【青葉小学校区】

##### 1. 子育ておよび高齢者福祉対策の推進

現在行っている登下校時の見回りパトロールに防犯の視点を取り入れ、活動の推進や拡大を図り、地域住民の安心・安全な生活を目指します。

##### 2. 防犯・防災対策で安心安全な生活環境づくり

校区内の町内会それぞれの立地条件に合わせた多様な避難訓練の実施検討を行います。



#### 【富岸小学校区】

##### 1. 防災計画

校区内全町内会における防災計画の策定と避難訓練を実施し、防災意識の改革・高揚を図ります。

##### 2. きずな安心キットの推進

平常時からの活動を行い、いざという時の支援につなげます。あわせて、キットの管理運用の方法の検討も行います。



#### 【若草小学校区】

##### 1. 防災活動

災害時に支援が必要な人の避難訓練参加促進や防災活動の普及啓発を行います。

##### 2. 高齢者支援

ゴミ出しや除雪・買物支援などといった軽微な生活支援の提供体制の構築を図り、安心して暮らせる地域づくりを目指します。



#### 【鷺別小学校区】

##### 1. 気軽に立ち寄れる地域の拠点づくり

日常生活の相談機能や介護予防の効果を持つ拠点の設置を、専門機関と連携し目指します。

##### 2. 住民主体の買物支援サービスの展開

商店などをはじめとした関係機関との連携を図り、サービスの展開を目指します。



# きずな計画策定の軌跡

## きずな推進委員会の開催

7回に渡って開催されたきずな推進委員会では、第3期きずな計画の方向性や新たに取り組まなければならない内容の検討・協議などを行いました。

また、きずな計画は全市計画と校区計画に分かれており、校区計画を策定するため、市内8小学校区ごとに組織された校区きずな推進委員会が開催され、それぞれの地域特性に応じた取り組みの検討などを行いました。



## プロジェクトチーム(PT)の設置

今後、制度改正等により、地域に求められる福祉活動が多様化されます。地域住民からの課題抽出だけではなく、公的なサービスの制度改正を理解しつつ、市民が主体となり地域で出来る取り組みを計画化するために、課題別に4つのPT（地域包括ケアPT、障がい福祉PT、きずなアンケートPT、計画評価・指針作成PT）を設置しました。それぞれのPTには専門職も参画しており、課題別に役割を分担したため、専門性の高い協議が行われました。



## 福祉実践者向けアンケートの実施

具体的な地域福祉活動の現状把握と今後の支援内容を検討するため、8月に町内会関係者やボランティア等を対象にしたアンケートを実施し、45.2%の回答をいただきました。

いただいた意見の中には「様々な取り組み方法があるが、まずはできるところから取り組むことが大事」「無償サービスだと気兼ねしてしまうため、有償サービスも必要だと思います」など多くの意見や想いを数多くいただきました。



## 住民座談会の開催

地域住民の想いを直接聴き、計画に反映させるため、市内8小学校区において住民座談会を開催し、延べ277名の参加をいただきました。

「日頃の見守り活動が支援の第一歩である」「隣近所のゴミ出しなどちょっとしたことなら手伝える」などといった意見1つ1つに真剣に向き合いました。

座談会で挙げられた意見総数は、1,078件となりました。



## 福祉事業所向けアンケートの実施

制度の狭間を埋める具体的な生活支援サービスの検討を行うため、1月に市内福祉関係事業所・団体を対象にアンケートを実施し、53.2%の回答をいただきました。

「出来る限りの協力はしたい」「情報交換の場を充実させ連携を強めたい」などといった力強い回答が寄せられています。